

令和5年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号			授業科目名	財務会計演習Ⅰ		担当教員	白山 真一		
			英語授業科目名	Financial accounting seminarⅠ		単 位	4	学 期	通年
対象年次	1 年次		クラス指定	なし		他との関連	財務会計特論 A, B		
履修条件	財務会計演習 A, B を同時に履修すること。								
テーマ・副題	会計理論・制度・実務の現状分析，課題抽出，対応の方向性の提示								
授 業 の 教育目的 ・ 目 標	この授業は，2 年次に履修する「財務会計演習Ⅱ」における修士論文のテーマを見出すことを教育目標とする。								
授 業 の 理解度の 到達目標	2 年次に履修する「財務会計演習Ⅱ」につなげるため，①学術的な修士論文の書き方の習得②修士論文のテーマ（問題意識， 関連する先行研究サーベイなどを含む）を決定することが授業の達成目標となる。								
授業キーワード	国際財務報告基準（IFRS），国際公会計基準（IPSAS），企業会計基準，政府・非営利会計基準 等								
授業の内容	企業会計の制度研究，理論・概念研究，実証研究など，各自の研究論文テーマを決定するための幅広い検討に対応した授業内容とする。なお，研究テーマは企業会計に限定せず，政府会計，地方自治体会計， 非営利会計などの領域を選択してもよい。								
授業の方法	前期は，各種の会計論文の事例研究をしたうえで，指定研究論文（2 本）及び指定図書（2 冊）の要約発表と討議を中心に，授業を進めていくことを基本とする。ただし，受講生のレベルに応じて柔軟に授業内容を変更する場合がある。 後期は，各自の修士論文のテーマの絞り込みや構想についての発表と討議を中心に，授業を進めていく。								
授業展開	[前期] 1. ガイダンス 2. 会計論文事例研究（制度研究） 3. 会計論文事例研究（理論・概念研究） 4. 会計論文事例研究（実証研究） 5. 指定研究論文の要約レポート発表と討議 ①-1 6. 指定研究論文の要約レポート発表と討議 ①-2 7. 指定研究論文の要約レポート発表と討議 ②-1 8. 指定研究論文の要約レポート発表と討議 ②-2 9. 指定図書の要約レポートの発表と討議 ①-1 10. 指定図書の要約レポートの発表と討議 ①-2 11. 指定図書の要約レポートの発表と討議 ①-3 12. 指定図書の要約レポートの発表と討議 ②-1 13. 指定図書の要約レポートの発表と討議 ②-2 14. 指定図書の要約レポートの発表と討議 ②-3 15. 前期のまとめ [後期] 各回とも修士論文のテーマの絞り込みを想定した「会計に関連する研究論文構想の発表と討議」を繰り返し行い，論文の構想を深めていくことを行う。各回の課題は各自の進捗状況に応じて柔軟に対応する。								
成 績 評価方法	課題への取り組み方（50%）を中心に，授業での発表や討論の状況（50%）などを総合して評価する。なお，出席状況が 60%未満である場合には，成績評価が不合格になる場合がある。								
成 績 評価基準	成績は総合点で 80 点以上を A, 79～70 点が B, 69～60 点が C, それ以下を D とする。								
テキスト	なし								
参考図書	「企業会計」「会計・監査ジャーナル」「経営財務」「税経通信」「会計」などの会計専門紙，関連図書 明石芳彦著「社会科学系論文の書き方」（ミネルヴァ書房，2019 年）								
準備学習に 必要な時間， 又はそれに 準じる程度	● 各自の発表に際し，①発表内容のレジュメ作成②発表のプレゼンテーションの準備を十分にしておくこと（最低でも 3 時間程度） ● 「レポートの発表と討議（前期）」「研究論文構想の発表と討議（後期）」の際には，「問題意識」を明確にしたうえで，全体を俯瞰するような報告を心掛けること								

の具体的な 学習内容				
学生への メッセージ	この講義を通じて、修士論文のテーマ（問題意識，論点など）を早めに決定するように心掛けてください。 また、担当講師と積極的に意見交換をするようにしてください。			
オフィスアワー	主に以下に示したメールにより質問等を受け付けることにする。			
連絡先	電話番号	0274-42-2828（内線：407）	メールアドレス	shirayama@jobu.ac.jp
人数制限	特に定めない。			